

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		波の家学院播磨町駅前					公表日	令和7年 2月 1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	ある程度のスペースがあり、相談室や個別スペースも完備されているため、十分確保できています。	今後も現状を継続していきます。		
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	基準の人員配置よりも多く職員が配置されており利用者への対応やフォローを行っています。	今後も継続していき、面談時に丁寧に説明を行っていきます。		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	施設が古いで、階段の上り下りの際は、職員が付き添い見守っている。保護者の方にも毎回声を掛けるようにしている。	今後も引き続き安全な環境を保てるよう工夫していきます。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	チェックリストを使用し、毎日かかさず掃除を行っています。	今後も継続していきます。		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	場所を変えたり、2階の部屋を使用するなどお子様に合った環境提示ができている。	今後も、利用しやすいよう環境整備を行っていきます。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	支援内容の振り返りや、カリキュラムの設定を検討し、相談や意見交換を行い改善に努めている。	フィードバックを積み重ね改善に努めています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	保護者からの評価表の意見を職員間で共有し支援内容や環境の改善を行っています。	保護者からの意向に添えるよう、改善に努めて参ります。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	法人全体で業務改善レポートを提出し、職員からの意見を検討し改善に努めています	今後も職員からの意見が出しやすくなるよう、改善していきます。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0	現在は行っていません。	要望があれば、検討し行っています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	研修や講習会に参加し、できなかった職員にも情報伝達を行い、職員の意識向上に繋げています。	今後も研修を積み重ね、職員の意識向上を目指して行きます。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1	その日の利用者様の体調、保護者様の要望によってカリキュラムを変更していくながら進めています。	サニーサイドなどの施設だよりなどでの公表は出来ていないのが現状なので、カリキュラムも公表していけるようにします。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	保護者とは面談を行い、子どもとは普段の間わりの中で話をする機会を持ち、個々の特性や希望に応じた支援計画を作成しています。	子ども、保護者共に信頼関係を築き、本人のニーズに合った支援計画の作成を行っていきます。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	児童発達支援管理責任者が普段から支援している職員との意見を交わす時間を持ち、意見を取り入れ、計画を作成しています。	児童発達支援管理責任者、職員の共通理解を図れるよう検討していきます。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	支援計画に沿って支援ができるよう、支援目標の確認や、日々の振り返りを行っています。	その都度、計画に沿って支援できているかの確認を行っていきます。		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	フォーマルなアセスメントだけでなく、その都度見返したり、確認を行い共通理解を行っています。	フォーマルなアセスメントとインフォーマルなアセスメント行動の分析をし確認を行っていきます。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	子どもの状況に合った活動内容になるよう変更や工夫をしています。	職員間で情報を共有し、話し合いを行い、状況に合ったプログラムの立案を行っていきます。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	領域に沿ったプログラムを取り入れ、子どもの状況に合った内容についていく事で固定化しないようにしています。	児童発達支援管理責任者が主となり、職員間で話し合い、様々な活動を計画しプログラムの検討を行っていきます。		
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	個別活動が多いが、同じ時間に利用されている他の利用者の方と一緒にカリキュラムを設定するなどの工夫を行っています。	子どもの状況に合わせて、個別、集団の活動を組み合わせながら計画、支援を行っていきます。		

適切な支援の提供	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	前回のお子様の様子を共有し、よりよい支援やカリキュラムが組めるよう話し合う場が出来ています。	職員間の連携を図り、より良い支援が出来るよう工夫していきます。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	時間が設けられないので、口頭での情報共有を行っています。	時間が設けられない時があるので、口頭でなくとも、メモ等見える形で共有していくなどの工夫を行っていきます。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	支援について気になった事や、振り返りについての話し合いの時間を多く設けています。	一人ひとりにあった支援が出来るよう、職員間で共有していきます。
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	半年に一回面談を行い、保護者・子どもの課題について検討しています。	定期的にモニタリングを行い、適切な計画の見直しが出来るようにしていきます。
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6	0	基本的活動を組み合わせて、様々な活動を取り入れられるようにしています。	4つの基本活動を組み合わせたプログラムを検討し支援を行っていきます。
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	こどもが自分で選択し、個々に合った取り組みができるように準備しています。	自己選択の機会を増やし、個々にあった選択ができるよう工夫していきます。
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	児童発達支援管理者が会議に参加し支援内容の確認や、方向性を相談しています。	今後も継続していきます。
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	必要時には、連携を図っています。	要望があれば、検討し行っていきます。
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	学校と連携を図り、情報共有を行っています。トラブル発生時は子どもの様子や状況など共有を図っています。	今後も情報共有を行っていきます。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	児童発達支援事業所とは、保護者の了承がある場合には行っています。	今後も情報共有を行っていきます。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	卒業後の進路先と連携を図り、保護者の了承のもと支援内容などの情報提供を行っている。	要望があれば、情報提供を行っていきます。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパー privatize や助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3		現状は行えていないので、機会を設けていきたいと思います。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4		現状は行えていないので、機会を設けていきたいと思います。
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4		現状は行えていないので、機会を設けていきたいと思います。
	34 曰頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	連絡ノートでのやり取りで日々の情報を共有しています。また、何かあれば電話やメールでお伝えし共通理解を行っています。	今後も保護者との連携を密に行い、情報共有を行っていきます。
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特訓・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	保護者会を開催し、情報提供や様々な困りごとなどを共有していくなどのサポートを行っています。	保護者会へより多くの参加を促せるよう、要望を伺ながら関心を持っていただける内容の検討を行っていきます。
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	面談時に、保護者への説明を行っています。	今後もより丁寧な説明を行ってきます。
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	保護者や子どもの希望やニーズをもとに尊重しつつ目標の作成について確認を取り、説明を行っています。	今後もわかりやすい丁寧な説明を行っていきます。
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	支援内容に沿って一つずつ説明を行い、質問があれば答えるようにしています。	今後もわかりやすい丁寧な説明を行っていきます。
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	必要に応じて面談を行い個別にお話しする時間を作り対応しています。	今後も支援の資質向上を図り、適切な助言が行えるようにしていきます。
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	定期的に保護者会を開催しています。	年間予定をお知らせし、お仕事で参加の予定が立てにくい保護者の方への参加を呼びかけていきます。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	苦情があつた際には、職員間ですぐに周知し迅速に対応するようにしています。	原因を明らかにし、繰り返し同じことが起こらないように職員間で情報共有し、未然に防げるよう丁寧な支援を徹底していきます。

保護者への説明等	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	毎月、行事予定など通信を発行しあげています。また、定期的にブログで活動の様子を発信しています。	今後も活動の発信を行い、行事など周知をしていただけるよう、継続して行なっていきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報が記載されているものは、鍵付きの場所に保管し施設外に持ち出さないことを徹底しています。またシミュレーターで処理し破棄しています。	今後も個人情報の取り扱いに対する意識を高めて参ります。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	一人ひとりにあった伝達方法を考え、書面やメールなど利用者様に合わせた伝え方や説明を行っています。	個々にあわせた情報伝達が出来るよう、工夫していきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3		要望があれば、検討し行なっていきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	各種マニュアルを作成しています。定期的な訓練や研修を行なっています。	今後も継続していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行なっているか。	6	0	業務継続計画を策定しています。定期的に避難、救助の訓練を行い安全に避難出来るよう訓練しています。	今後も継続していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	契約時に服薬、てんかん発作についての状況や対応方法について保護者に確認し、面談時に変わらないか本人の状況確認を行なっています。	今後も保護者と連携を行い、服薬やてんかん発作の情報を把握できるよう職員間で共有していきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	契約時にアレルギーについて確認し、食物アレルギーのある方には、保護者の指示のもと対応を行なっています。	保護者と相談しながら適切に対応していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	マニュアルを作成し、緊急時の対応や訓練、定期的な装備点検を行なっています。	作成し、支援も行なっているが、保護者への周知がまだまだなので、周知していくようにしていきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	安全確保の為、緊急時の連絡先など連携が取れるよう、説明会や面談時に説明を行なっています。	今後も保護者や家族と連携が図れるよう、取り組について説明を行なっていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	職員間で共有し、再発防止について考え方話し合いを行い、記録に残しています。	引き続き記録や情報をもとに再発防止に努めています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	月に一度、全職員で虐待についての研修を行い、日々の支援内容の振り返りや、事例検討を行い対応が適切かを考えています。	今後も研修を行い、虐待防止に努めています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	現在は該当の利用者様はいない為、必要な際に身体拘束についての検討のプロセスをもとに、保護者にも事前に説明を行なっています。	身体拘束について検討していくことを怠らず、やむを得ず拘束を行う場合は、保護者と相談し支援として取り組んでいます。

事業所における自己評価総括表

公表

○事業所名	波の家学院播磨町駅前			
○保護者評価実施期間	2024年 8月 1日 ~ 2024年 8月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数)	39
○従業者評価実施期間	2024年 8月 1日 ~ 2024年 8月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・駅が近いので、自力通所のサポートが行えている。	・山電沿線は近いが、JR沿線は施設から離れているので、JR土山駅までの送迎を行っている。 ・来所の際や帰る際に、安心して頂く為、保護者の方にメールや電話での連絡を行っている。	・要望があれば、帰りに播磨町駅まで送っていく事も対応していく様にする。
2	・利用者様に応じた活動場所の提供。	・集中しやすい環境と、2階の広いスペースを選べるように環境設定を行っている。	・部屋を変える、机の配置を変えるなど配慮を行う事で、どのお子様も安心して過ごせるようサポートを行っていきたい。
3	・お子様のニーズに合わせた職員配置を行っている。	・テンポ良く進めた方がいいお子様、ゆっくり丁寧に進めた方がいいお子様など、それぞれに合った職員を配置する事で、無理なくカリキュラムに取り組めるようサポートを行っている。	・定期的に職員の話を聞き、お子様の様子も伺いながら、職員配置の見直しを行っていく事で、偏った支援になってしまわないようにしていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・バリアフリーへの対応が難しい。	・施設が古く、階段などが急だったりするが、賃貸物件の為、リформなどが難しい。	・手すりを設置し、上り下りの際には、必ず声掛けし、職員が付き添う事で危険が無いよう細心の注意を払っていく。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		波の家学院播磨町駅前							公表日 2025年2月1日			
		利用児童数 43							回収数 39			
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応				
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	37	1	0	0		保護者の方へ周知できるよう、再度面談時に施設を案内したり、施設の平面図等を利用し、詳しく説明するようにしていきます。				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	37	1	0	0		基準よりも多めに職員を配置している事を伝えています。				
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	33	3	0	2	2階に上がる事が増えたようで、急な階段が少々心配です。	2階に上がる階段は、手すりを設置し、職員が付き添う事で、危険が無いよう細心の注意を払っています。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	37	1	0	0		今後も現状を継続していくながら課題に取り組みやすい環境を確保する事をお伝えしていく。				
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援を受けられていると思いますか。	37	0	0	1		保護者の要望を伺いながら、より具体的な対応ができるよう、今後も検討していきます。				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	32	2	0	4		その日の利用者様の体調、保護者様の要望によってカリキュラムを変更していく為、口頭でお伝えさせて頂いていますが、施設通信などでも伝えています。				
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	38	0	0	0		今後も現状を継続しています。				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	35	0	0	3		書類の書式が変わったので、面談時に放課後等デイサービスガイドラインについて、再度分かりやすく説明していくよう努めます。				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	37	0	0	1		具体的な課題と、それに基づいて取り組んでいる支援内容を保護者に説明できるよう対応し、計画を職員間で共有し、より一層保護者と連携していきます。				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	32	2	0	4		面談で保護者の話を聞いてニーズを確認し、それぞれ利用者様の特性に応じた内容のプログラムを提供できるように努めています。				
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	14	6	3	12		現状は施設内の活動になってしまいますが、保護者からの要望があれば、今後も検討していきます。				
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	37	1	0	0	丁寧に説明して下さいました。	面談に再度、丁寧に説明を行っていけるよう努めます。				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	38	0	0	0		今後も現状を継続しています。				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	32	2	0	4	平日の日中開催が多いので、別日も設けて欲しい。仕事でなかなか参加しづらい	保護者様の要望を伺いながら、開催の仕方についても前向きに検討させて頂き、情報提供についてもお知らせしていきます。				
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができると思っていますか。	36	2	0	0		より一層、保護者の方と日頃からコミュニケーションを取り、寄り添っていきながら信頼関係を築いていけるよう努めます。				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	35	1	0	2		定期的な面談に加え、お声掛け頂いた場合には、お話しするお時間を設けさせて頂きます。				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	37	0	0	1		保護者の要望を伺いながら、より具体的な対応ができるよう、今後も検討していきます。				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	28	1	0	9		定期的に保護者会を開催するので、引き続き保護者の方の要望を伺いながら、保護者様のニーズに応じた保護者会を行つていけるよう努めます。				

保護者への説明等	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	34	1	0	3		今後も現状を継続させて頂くと共に、ご意見を頂いた場合には、迅速に対処させて頂きます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	37	1	0	0		保護者の要望を伺いながら、より具体的な対応ができるよう、今後も検討していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	35	1	0	2		保護者にお伝えできる機会を増やし、必要な情報を発信できるよう対応していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	34	0	0	4		今後も個人情報の取り扱いには十分に注意し、どのように取り扱っているかをより一層丁寧に説明していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	34	1	0	3		職員間だけでなく、保護者への周知ができるように契約時や面談時に説明していきます。また、施設へ来所された際に、手に取りやすい場所へマニュアルを置き、周知できるようにしていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	36	0	0	2		面談の時などにしっかりと伝えていく事で、保護者への周知を徹底していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知されるる等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	35	1	0	2		今後も現状を継続させて頂くと共に、ご意見を頂いた場合には、迅速に対処させて頂きます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	31	3	0	4		フロチャートを作成し、研修なども行っているので、面談の時などに保護者の方に伝えていく事で周知徹底していきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	38	0	0	0		今後も現状を継続していきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	31	6	1	0		今後も現状を継続させて頂くと共に、ご意見を頂いた場合には、迅速に対処させて頂きます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	38	0	0	0		今後も現状を継続していきます。